

学習指導案「もしも自分だったら」（アトピー性皮膚炎編）

対象学年	小学校5学年・6学年
活用可能な単元	保健体育（保健領域）「病気の予防」 理科「人の体のつくりと働き」 道徳「相互理解、寛容」
ねらい	(1) 「アトピー性皮膚炎」の知識を得る。 (2) 「アトピー性皮膚炎」をもつ人の気持ちを想像してみる。 (3) 自分の行動を振り返り、今後の行動目標を立てる。
準備	PC、モニター（またはプロジェクター/スクリーン）、授業用タブレット
テーマの背景	小学生のアトピー性皮膚炎の被患率は3.33%（学校保健統計調査2019）であり、計算上は1クラスに1人程度のアトピー性皮膚炎をもつ児童がいることになります。アトピー性皮膚炎は症状が外見に及ぶことや重度児では参加できない教育活動があるなどの理由で、友人関係に問題が生じるケースがあります。問題解決の一つは病気の正しい知識の習得を通じて、病気を理解することであり、授業で取り上げることに意義があると考えます。

	学習活動	教材
導入 5分	子どもたちがどんな「皮膚の病気」を知っているかを問い、アトピー性皮膚炎について知っていることを確認する。 【発問】知っている「皮膚の病気」はあるか。「アトピー性皮膚炎」を知っているか。それはどんな症状か。	「ワークシート」（配布）
展開1 5分	1. 「アトピー性皮膚炎」について調べてみよう 「病気のしくみ」>「免疫の病気」>「アトピー性皮膚炎」に誘導 ▶ワークシートに記入 ・アトピー性皮膚炎について知っていることを記入する ・資料からわかったことを記入する	図解：病気のしくみ 
展開2 15分	2. 「アトピー性皮膚炎」の人の気持ちを考えてみよう マンガ「もしも自分だったら」>「アトピー性皮膚炎編」に誘導 【発問】「アトピー性皮膚炎」をもつ人は、どんな気持ちなんだろう。もしも自分だったらと想像してみよう。 ▶ワークシートに記入 ・もしも自分がアトピー性皮膚炎だったら、人からされて「嫌なこと」「うれしいこと」、「やってほしいこと」はどんなことかを記入する ※モニター表示の場合は、クラスで一緒に読み進める	マンガ：もしも自分だったら 
展開3 10分	3. グループで、「アトピー性皮膚炎について考えたこと」をもとに、自分たちの行動の目標を立てよう ▶個人ワークシートをもとにグループ討論 ・自分たちの行動の振り返り ・これからの目標	
まとめ 10分	4. 行動目標を発表しよう ▶グループまたは代表者が発表	